

冠詞 — 不可算名詞の場合

このスライドでは、
名詞が不可算 (uncountable) の場合
the の有無をどのように判断すればよいか
を扱います。

基本となる考え方

不可算名詞の前には a/an は使用しないので、書き手は不可算名詞を使用するとき、冠詞に関しては the を入れるか入れないか判断すれば良い、ということになります。以下は the の有無を判断するための一つのアプローチです。

(i) 名詞(又は名詞句)が指しているものの範囲が限定又は特定されていない ⇒ the を入れない

↑ 境界線がないイメージ

(ii) 名詞(又は名詞句)が指しているものの範囲が限定又は特定されている ⇒ the を入れる

↑ 境界線があるイメージ

**「範囲が限定又は特定されているかどうか」
を判断する感覚は
英語と日本語とで異なることがあります。
例文をみながら、
感覚の違いを理解していきましょう。**

例1

- (1) Water is an essential substance.
- (2) I drank water from the tap.
- (3) The water in this container is suitable for drinking.

- (1) 「水は不可欠な物質だ」と記す場合、「水」は「水というもの全体」を指している。何か全体を指している場合は、指しているものの範囲が限定されていないので、the を入れない。
- (2) water from the tap「水道からの水」が指しているものの範囲は限定されているかどうかを考える。「水道からの」とあるので、範囲は限定されているように感じるかもしれないが、「水道からの水」と書かれているだけでは、どこの水道からの水か不明であり、また、「水道からの水」には「ここから始まってここで終わる」というような境界線はない、と考えるので、the を入れない。
- (3) water in this container「この容器の中の水」が指しているものの範囲は限定されているかどうかを考える。「この容器の中の水」と「それ以外の水」の間には明確な境界線があるため、「この容器の中の水」が指しているものの範囲は限定されていると考え、the を入れる。

(2) I drank water from the tap. について

ポイント:

センテンス全体(「私は水道からの水を飲んだ」)で見ると、言及されているものの範囲は「水道からの水」の中でも「私が飲んだもの」であると特定されています。しかし、**theの有無は、名詞句のみによって、範囲が限定又は特定されてるかどうか**で判断します。ここでは、名詞句は water from the tap なので、「水道からの水」が指しているものの範囲が限定されているかどうかを考えて、theの有無を判断します。

例2

- (1) This website provides information about scholarships.
- (2) Students are asked to read the information provided in this booklet.

- (1) information about scholarships「奨学金についての情報」が指しているものの範囲は特定されているかを考える。「奨学金についての」とあるので、範囲は限定されているように感じるかもしれないが、世界に存在する「奨学金についての情報」を全て特定することは不可能で、「奨学金についての情報」は無限にあると考えるので、範囲が限定されていない、と考え、the を入れない。
- (2) information provided in this booklet「この冊子に記されている情報」が指しているものの範囲は特定されているかどうかを考える。言及されているものの範囲は「この冊子に記されている」という部分により特定されている。「この冊子に記されている情報」と「それ以外の情報」の間には明確な境界線があるため、the を入れる。

(1) This website provides information about scholarships. について

ポイント:

センテンス全体(「このサイトは奨学金についての情報を提供します」)で見ると、言及されているものの範囲は「奨学金についての情報」の中でも「このサイトに載っているもの」であると特定されています。しかし、**theの有無は、名詞句のみによって、範囲が限定又は特定されてるかどうか**で判断します。ここでは、名詞句は information about scholarships なので、「奨学金についての情報」が指しているものの範囲が限定されているかどうかを考えて、theの有無を判断します。

例3

- (1) My advisor gave me advice on how to write an effective personal statement.
- (2) The advice (that) I received from my advisor on how to write an effective personal statement was helpful.

- (1) advice on how to write an effective personal statement「効果的な志望動機の書き方についてのアドバイス」が指しているものの範囲は特定されているかどうかを考える。「効果的な志望動機を書くための」とあるので、範囲は特定されているように感じるかもしれないが、「効果的な志望動機の書き方についてのアドバイス」を全て特定することは不可能で、「効果的な志望動機の書き方についてのアドバイス」は無限にあると考えるので、範囲が限定されていない、と考え、the を入れない。
- (2) advice (that) I received from my advisor on how to write an effective personal statement「効果的な志望動機の書き方について、私がアドバイザーから受けたアドバイス」が指しているものの範囲は特定されているかを考える。言及されているものの範囲は「効果的な志望動機の書き方について、私がアドバイザーから受けた」の部分により特定されている。「効果的な志望動機の書き方について、私がアドバイザーから受けたアドバイス」は特定できるのと、「効果的な志望動機の書き方について、私がアドバイザーから受けたアドバイス」と「それ以外のアドバイス」の間には明確な境界線があるため、the を入れる。

(1) My advisor gave me advice on how to write an effective personal statement. について

ポイント:

センテンス全体(「私のアドバイザーは効果的な志望動機の書き方についてのアドバイスをくれた」)でみると、言及されているものの範囲は「効果的な志望動機の書き方についてのアドバイス」の中でも「私のアドバイザーがくれたもの」であると特定されています。しかし、**theの有無は、名詞句のみによって、範囲が限定又は特定されてるかどうか**で判断します。ここでは、名詞句は advice on how to write an effective personal statement なので、「効果的な志望動機の書き方についてのアドバイス」が指しているものの範囲が限定されているかどうかを考えて、theの有無を判断します。

例4

Research on the relationship between exercise and health was conducted. The research revealed that regular exercise reduces the risk of obesity.

- Research on the relationship between exercise and health「運動と健康の関係に関する研究」が指しているものの範囲は限定されていない(例1(2)、例2(1)、例3(1)にある説明を参考に、なぜ限定されていないのか考えてみましょう)
- 2つ目のセンテンスの research「研究」が指しているものの範囲は、「研究の中でも前のセンテンスで紹介した研究」に限定されているので、the を入れる。

ポイント:このように、一度既に出てきたものを指す場合は、範囲は限定されていると考え、the を入れます。

備考: **research は不可算名詞です!**「研究」を可算名詞として扱いたい場合は、study を使用します(a study, studies, three studies, previous studies など)